

ベトナム国廃棄物分野における開発ニーズ(課題)

- ・ 焼却・埋立処分が必要とされる固形廃棄物を、収集された廃棄物総量の40%まで大幅削減
- ・ 残り60%を、堆肥や物資、エネルギーとして再利用・リサイクルとして利用する技術を確認
- ・ 他方、上記目標達成のための施策構築に苦慮

提案製品・技術

- ・ 一般廃棄物を原料とするメタン発酵発電システム
本システムは、専用プレス機(有機性廃棄物の不適物除去)・メタン発酵槽(有機性廃棄物よりメタンガスの生成)・脱水装置(発酵残渣を脱水ケーキと液肥に分離する)を主要な機器としている。

本事業の内容

- ・ 契約期間: 2022年5月～2024年12月
- ・ 対象国・地域: ベトナム国ハノイ市
- ・ カウンターパート機関: ベトナム国家農業大学
- ・ 案件概要: 一般廃棄物に含有の有機系廃棄物を用いたメタン発酵及び有機肥料生成の普及・実証・ビジネス化事業。発酵ガス分析、残渣有機堆肥・液肥の成分分析と実栽培により、廃棄物利用技術の実証を行う。



メタン発酵装置



ラボテスト装置



実証栽培の実施

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・ 首都ハノイ市での一般廃棄物の減容化に貢献するため、同市で発生する一般廃棄物を対象としたメタン発酵発電事業を検討する
- ・ 廃棄物の引受料と電力販売、堆肥・液肥の販売を収益源として自立的な事業性の確保を目指す
- ・ 更には、同システムの地方中規模都市での展開を目指す

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・ 政府目標である一般廃棄物の適切処理、資源回収、エネルギー利用、廃棄物減容化への貢献
- ・ 最終処分場周辺環境の改善(臭気、汚染水)
- ・ 再生可能エネルギーによるCO2排出削減
- ・ 良質な堆肥・液肥生成による安全な農業の促進
- ・ 廃棄物からのRDF製造による3Rの促進
- ・ 処理施設の建造・稼働に伴う地元雇用等の経済貢献